



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

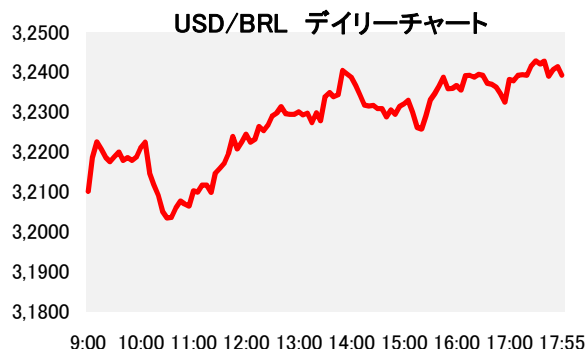
1. マーケット・レート

			8月12日	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1920	3.1860	3.2020	3.2060	3.2390	+0.0330
	BRL/JPY	Spot	31.74	31.78	31.32	31.25	30.84	-0.41
	EUR/USD	Spot	1.1163	1.1183	1.1277	1.1289	1.1351	+0.0062
	USD/JPY	Spot	101.29	101.26	100.29	100.19	99.89	-0.30
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.838	13.824	13.852	13.829	13.848	+0.018
	Future	1Year(p.a.)	13.112	13.097	13.148	13.135	13.183	+0.047
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.128	2.214	2.187	2.156	2.100	-0.056
	USD	1Year(p.a.)	2.326	2.350	2.384	2.327	2.263	-0.064
株式	Bovespa指数		58298	59146	58855	59324	59166	-158
CDS	CDS Brazil 5y		258.22	253.97	253.46	253.30	251.76	-1.54
商品	CRB指数		182.681	185.144	186.637	186.898	189.339	+2.44

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

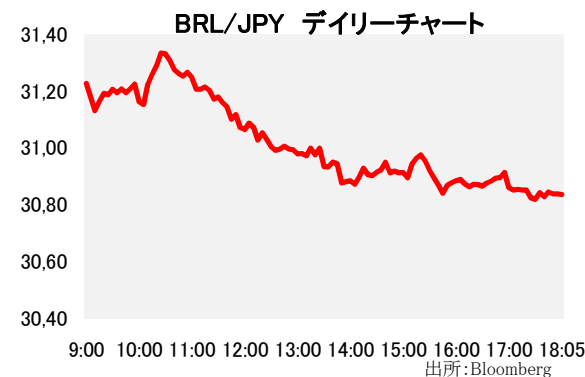
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
(米)新規失業保険申請件数	265k	262k	266k
(米)失業保険継続受給者数	2145k	2175k	2160k
(米)フィッシャー連銀景況	2.0	2.0	-2.9
(米)ブルームバーグ経済期待	--	44.5	44.5
(米)ブルームバーグ消費者信頼感	--	43.6	41.8
(米)先行指数	0.3%	0.4%	0.3%



3. 要人コメント

ダドリー ニューヨーク連銀総裁	政策金利引き上げの適切な時期の 判断に影響する基準は雇用だ
--------------------	----------------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2030で寄り付いた後、直ぐさま本日の高値となる3.2000を付けるも、伯中銀によるドル買い介入を受けてレアルは下落した。伯中銀の介入警戒感からドルを買い戻す動きが見られ、レアルはじりじりと下落した。午後に入り日中安値となる3.2440を付け、結局3.2390でクローズした。
- 米金融政策当局による年内利上げの可能性を疑問視する動きが強まっていることを背景に、ドルが約3カ月振りの安値まで下落した。新興国通貨や主要通貨が対ドルで上昇する中、レアルは単独で下落する展開となった。中銀介入のほか、上院で投票される予定だった政府経費自由枠(DRU)を25%に引き上げる法案の採決が延長されたこともレアル売り材料となった。ボベスパ指数もリスクオン・モードに反して下落した。
- 主要産油国が生産抑制に動くとの観測に加え、米国の原油やガソリン在庫の減少が買いを誘ったことからWTI原油先物が過去1年あまりで最長の6営業日続伸となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。